

厨川白村

くろくわん

評論家、英文學者、文學博士。明治十二年六月十九

日京都生れ、大正十一年九月一日歿（二八〇—一九三三）。本名辰夫。別號

櫻桂子、泊村、血城等。明治二十七年東京帝國大學文科大學英文科卒。

第五・第二高等學校、京都帝大各教授歴任。鎌倉の關東大震災に遭遇

死。『厨川白村集』全六卷（大正十二年十一月十五日—十四年十月十

日厨川白村集刊行會編刊）、『厨川白村遺稿遺遺（最近英詩概論）』、

『厨川白村集・文學論索引』（大正十五年四月十八日厨川白村集刊行

會編刊）、『厨川白村全集』全六卷（昭和四年二月二十八日—八月、一

十日改造社）がある。

著書『近代文學十講』（明治四十五年二月十七日大日本圖書株式會

社）、『狂犬』（大正四年十一月）二十

二日大日本圖書株式會社）、『印象記』

（大正七年五月十五日大阪・積善館）、

磯千鳥續著『趣味の文がら』（細田祐

洋共編、大正七年十一月八日博文館）、

『ダンテの研究』（合著・京都文學會

編、大正十年九月十八日京都・星野書店）、『詩聖ダンテ』（合著、

大正十年十一月十五日大阪・朝日新聞社）、『現代文化と教育』（合

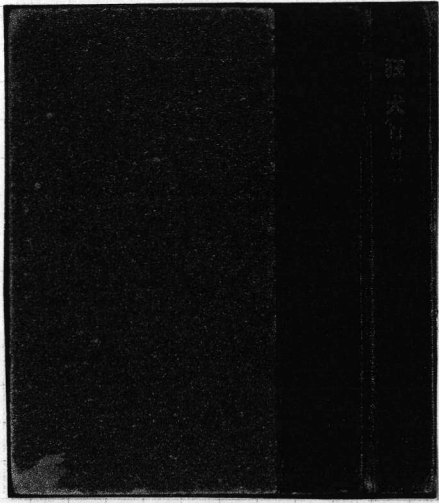
著・國民教育獎勵會編、大正十二年二月一日民友社）、『現代抒情詩

選（英詩選釋・第一卷）』（大正十二年二月八日ユルス）、『近代文

學十講』（昭和八年九月二十一日改造社「改造文庫」）、『象牙の塔

をでて』（昭和八年十一月十五日改造社「改造文庫」）、『近代の戀

愛觀』（昭和十二年二月二十日吾樂社）、『象牙の塔をでて』（昭



和(二十四年)六月十五日(東京) (近代の藝文觀) (昭和) 十五年七
月十五日(角川書店) (角川文庫) 等。